

# てんかんは子供、大人、高齢者も発症します。

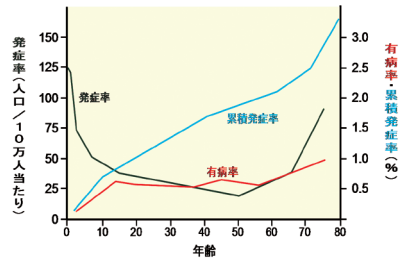
てんかんは子供だけの病気ではありません。大人にも高齢者にも発症する、よくみる病気ですが、とても予後の良い病気です。他の神経疾患との鑑別が重要であり、神経内科を受診しましょう。

## てんかんとは

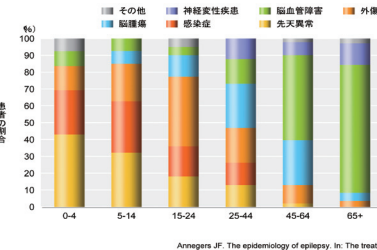
- 慢性の脳の病気で、大脳の神経細胞が過剰に興奮するために、脳の症状(てんかん発作)が反復性(2回以上)に起こるものです。
- 発作は突然に起こり、普通とは異なる身体症状や意識、運動および感覚の変化が生じ、数分で治まります。
- 明らかでない原因があればてんかんの可能性は高いと思われます。

## ●年代別発症率・有病率・累積発症率

てんかん発症は20歳未満と60歳以降に多く、65歳以降の高齢者でてんかんが増えています。



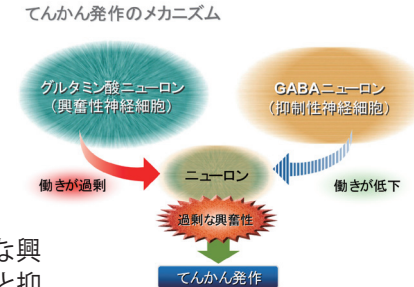
## ●年齢別のてんかんの原因



25歳以降は、脳血管障害、脳腫瘍、認知症等の変性疾患、脳炎等の感染症が原因となる、症候性部分てんかんが主体となります。

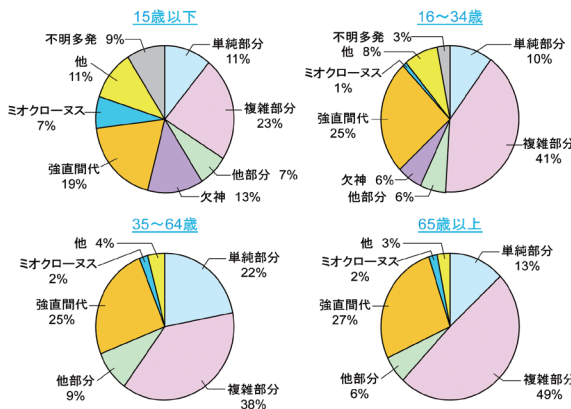
## ●てんかん発作のメカニズム

てんかん発症機序は、大脳神経細胞(ニューロン)の興奮性神経細胞の過剰興奮と抑制性神経細胞の機能低下により、神経シナプスレベルでの神経細胞の過剰興奮が惹起され、てんかん発作が出現します。



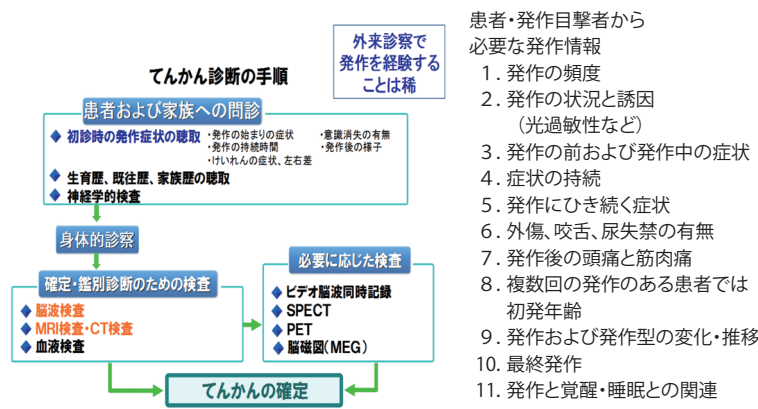
抗てんかん薬はニューロンの過剰な興奮性を抑えます。興奮性を抑える薬と抑制機能を高める薬があります。

## ●部分発作(部分てんかん)および全般発作(全般てんかん)の割合



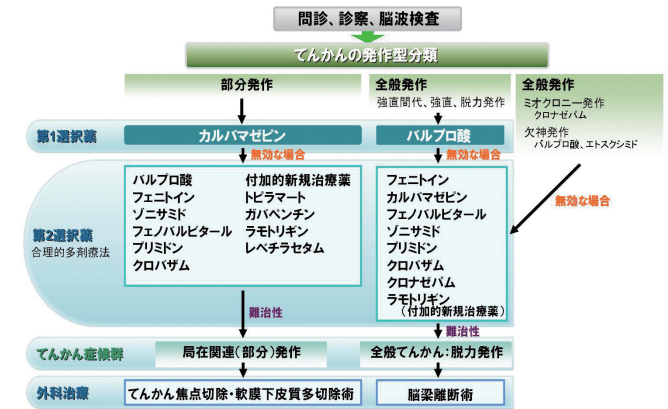
大人のてんかんでは、意識減損発作を呈する部分発作の頻度が高くなります。

## ●てんかん診断の流れ



てんかん診療では詳細な病歴が重要です。脳波検査、MRI検査が診断の確定に必要です。

## ●てんかん治療のフローチャート



てんかんは内服治療により70~80%は発作が消失します。側頭葉てんかんは外科治療で70~90%は発作が消失します。